

第508回定期公演マイスター・シリーズ

オーケストラ・アンサンブル金沢

ORCHESTRA ENSEMBLE KANAZAWA

チケット料金 全席指定(消費税込)

SS席	7,000円
S席	6,000円
A席	4,500円
ビスタ席	2,500円
スターライト席 (3階バルコニー)	1,500円
車椅子席	6,000円

一般発売

2026.10/23(金) 10:00～

*定期会員先行販売

2026.10/16(金) 10:00～

 3公演セレクトセットなら
発売日前にチケットを
お取りできます。
⇒詳しくはこちらまで!

25才以下の方は50%オフで
ご購入いただけます。

(発売日より販売/公演当日、要証明書類)

モーツァルト
交響曲 第39番 変ホ長調 K.543
W.A.Mozart: Symphony No. 39 in E-Flat Major, K. 543

石松隆
アトムハーツクラブ組曲第1番 Op. 70b
Takashi Yoshimatsu: Atom Hearts Club Suite No.1 Op.70b

石若駿
協奏組曲「playground (for percussion)」(改訂版)
Shun Ishiwaka: Concert Suite "playground (for percussion)" (Revised version)

モーツァルト

交響曲 第35番 ニ長調 K.385 「ハフナー」
W.A.Mozart: Symphony No. 35 in D Major, K. 385 "Haffner"

チケットのお求めは

石川県立音楽堂
チケットボックス
TEL 076-232-8632

電話 10:00～18:00

窓口 9:00～19:00

(休館日: 10/19, 11/16, 12/15, 12/29-1/3)

託児ルーム(有料)あります。

1/13(水) 17:00までにお申し込みください。

TEL 076-232-8111

WEBから購入



・チケットぴあ (Pコード:313-046) ・ローソンチケット (Lコード:57910) ・セブンチケット (7コード:113-436) ・イープラス (eplus.jp) ・teket▷

主催/公益財団法人石川県音楽文化振興事業団 助成/文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)) 独立行政法人日本芸術文化振興会



2027
1.23 SAT

石川県立音楽堂
コンサートホール
午後2:00開演
(午後1:15開場)

The 508th Subscription Concert
Meister Series
Saturday 23 January 2027, 2pm
ISHIKAWA ONGAKUDO Concert Hall

#508

Meister Series
Subscription Concerts 2026-2027

指揮/

出口 大地

Daichi Deguchi, Conductor
©hiro.pberg_berlin

定期公演のイメージが変わる!
クラシックの名曲と、いまを駆ける才能が出会う
一日限りの特別ステージ。

パーカッション

石若 駿

Shun Ishiwaka, Percussion
©井上嘉和

ピアノ

林 正樹

Masaki Hayashi, Piano

ベース

須川 崇志

Takashi Sugawa, Bass

ORCHESTRA ENSEMBLE KANAZAWA #508

Meister Series
Subscription Concerts 2026-2027

出口大地 指揮 Daichi Deguchi, Conductor

2021年第17回ハチャトゥリアン国際コンクール指揮部門にて日本人初の優勝。同年クーセヴィツキー国際指揮者コンクール最高位及びオーケストラ特別賞。

2021年ベルリン放送交響楽団の公演にてヴァディーミル・ユロフスキ氏のアシスタントを務める。ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、アルメニア国立交響楽団等の指揮を経て、2022年7月、東京フィルハーモニー交響楽団定期演奏会にて



©hira.pberg_berlin

日本デビューを飾る。その後京都市響、読売日本響、仙台フィル、日本センチュリー響、群馬響、神戸室内管、新日本フィル、東京都響、兵庫芸術文化センター管、大阪フィル、東京響、神奈川フィル、日本フィル、大阪響、札幌響をはじめとして日本各地のオーケストラへのデビューが続いている。2024年9月からの1年間、リエージュ王立フィルハーモニー管弦楽団アシスタントコンダクターを務めた。大阪府豊中市生まれ。関西学院大学法学部卒業後、東京音楽大学作曲指揮専攻(指揮)卒業。2023年3月ハンス・アイスラー音楽大学ベルリンオーケストラ指揮科修士課程修了。指揮を広く上淳一、田代俊文、三河正典、下野竜也、クリスティアン・ユーヴァルト、オペラ指揮をハンス・ディーター・パウムの各氏に師事。またネーメ、パーヴォ、クリスティアン・ヤルヴィ、ドナルド・ラニクルズ、ヨハネス・シュレーブリ、井上道義、沼尻竜典各氏らのマスタークラスにオーディションを経て招待され、薫陶を受ける。

第33回(2025年度)渡邊暁雄音楽基金 音楽賞受賞

公式ホームページ <https://daichideguchi.wixsite.com/daichideguchi>

オーケストラ・アンサンブル金沢

Orchestra Ensemble Kanazawa

1988年、岩城宏之が創設音楽監督を務め、石川県と金沢市が設立した国内外奏者40名からなる日本最初のプロの室内オーケストラ。石川県立音楽堂を本拠地とし、年間約100公演を行う。2007年より11年間井上道義が音楽監督を務め、2018年9月よりマルク・ミンコフスキが芸術監督を務める。22年9月より上淳一がアーティスト・イン・レジデントを務める。

林 正樹 ピアノ Masaki Hayashi, Piano



情感豊かなソロ・パフォーマンスや、「林正樹グループ」「間を奏でる」といったプロジェクトの主宰で知られる林正樹は、現代のアカoustic・シーンにおいて多岐にわたって活躍する存在である。小野リサ、椎名林檎、LEO、金子飛鳥、藤本一馬といった著名なアーティストと共演する傍ら、バンクシア・トリオや菊地成孔とベベ・トルメント・アスカラルなどのアンサンブルでも重要な役割を担っており、そのコラボレーションは幅広いジャンルに及んでいる。林の芸術性は、繊細な演奏と「静的な」作曲の洗練された融合にあり、独特のウィットを交えながら膨大な音楽的影響を取り入れるスタイルを特徴としている。この際立った音楽性は国際的にも高く評価されており、類まれな深みを持つ作曲家としての評判を確固たるものとしている。近年の活動としては、NHK大河ドラマ『べらぼう』や『光る君へ』、連続テレビ小説『虎に翼』のレコーディング・セッションに参加。映画音楽作曲家としては、2021年の西川美和監督作品『すばらしき世界』で第76回毎日映画コンクール音楽賞を受賞。2025年11月には、藤本一馬とのコラボレーションによる最新アルバム『Unfolding in Time』をリリースし、絶賛を浴びている。

第509回定期公演フィルハーモニー・シリーズ

2027年2月21日(日)14:00開演

北の大地が生み出す音楽の幸

指揮: 松井慶太(OEK・パーマネント・コンダクター)

ピアノ: ベーター・ヤブロンスキー

間宮芳生: オークストラのためのタブロー2005

チャイコフスキー: ピアノ協奏曲 第1番

シベリウス: 交響曲 第5番



指揮:
松井慶太
(OEK・パーマネント・コンダクター)
©Ayane Shindo



ピアノ:
ベーター・ヤブロンスキー

今もっとも注目される打楽器奏者、石若駿がOEK定期に待望の初登場を果たす。ジャズとクラシックをベースにジャンルを超越した活動を展開する気鋭が、左利きのマエストロ、出口大地と共演。協奏組曲 playgroundz を披露する。さらにプログレへのオマージュとして書かれた吉松隆作品と、18世紀の最先端に行くモーツァルトの傑作交響曲が組み合わせられる。音楽の世界は広い！

石若駿 パーカッション Shun Ishiwaka, Percussion

打楽器奏者、作曲家。

1992年北海道生まれ。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校打楽器専攻を経て、同大学を卒業。卒業時にアカンサス音楽賞、同声会賞を受賞。自身のプロジェクトとして Answer to Remember、SMTK、Songbook PROJECT、石若駿トリオを展開。また作編曲家として、様々なアーティストや映像作品のサウンドプロデュース、楽曲提供を行う。これまでに、日野皓正、くるり、椎名林檎、米津玄師、星野源、KID FRESINO、君島大空 合奏形態、CRCK/LCKS、Banksia Trio、Marty Holoubek Trio II、IV、Yuya Wakai Trio、David Bryant Trismicなど多数のミュージシャンのライブ、レコーディングに参加。海外アーティストとの共演も多く、Herbie Hancock、Kurt Rosenwinkel、Jason Moran、Federico Casagrande、Tony Allen、James Francies、John Scofield、Taylor McFerrin、Peter Evans、Fabian Almazan、Linda Oh、Richard Spaven、Corey Kingの来日公演に参加。



©井上嘉和

ソリストとして、上野耕平、山中惇史、角野隼斗と名古屋フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢と共演。

2022年 人工知能による自分自身との共演を試みた石若駿+YCAM新作パフォーマンス公演「Echoes for unknown egos—発現しあう響きたち」を発表。

2023年 HTBジルベスターコンサートにて自作の打楽器協奏組曲「playgroundz (for percussion)」を札幌交響楽団と共に世界初演。同年公開された劇場版アニメ「BLUE GIANT」では登場人物「玉田俊二」のドラム・パート実演奏を手がける。

2024年 Answer to Remember『Answer to Remember II』が第17回CDショップ大賞2025 ジャズ賞を受賞。2025年 日米交流団体であるジャパン・ソサエティーの主催による音楽シリーズ『石若駿: ジャズ・トランセンディング』をNYで開催、好評を博す。最新アルバムとして、石若駿トリオ『Live at ALFIE "Temporal Cubic"』、石若駿、市野元彦、カノア・メンデンホール『TEINE』の2作を同時リリース。(2025年12月)

他に類を見ないアプローチで音楽シーンに影響を与え、新たな潮流を生み出している。

須川 崇志 ベース Takashi Sugawa, Bass



東京在住のジャズベーシスト、チェロ奏者。群馬県伊勢崎市出身。11歳からチェロ、18歳からコントラバスを始める。ソロを始め、様々なフォーマットでの即興演奏を主軸に活動。米ボストンのパークリー音楽大学を卒業後、ニューヨークへ移住。ピアニストの菊地雅章氏に出会い、その音楽哲学から大きな影響を受ける。帰国後、日野皓正クインテット、渡辺貞夫カルテットのメンバーとして活動。現在は、自身が主宰する「Banksia Trio」(林正樹、石若駿)をはじめ、森山威男クインテット、八木美知依トリオなどのグループに参加している。東京JAZZやモントルー、ロンドン、デトロイト、メルボルン、メーヌスといった国内外のフェスティバルに多数出演。また、俳優・金子あいの舞台『平家物語』でのソロ演奏や、写真展、ダンス、パブリックアート作品のための音楽制作も手掛ける。2018年にデビューアルバム『Outgrowing』(Leo Genovese, Tom Rainey)を発表。Banksia Trioでは26年7月22日リリースの最新作『The Great Noon』を含め現在までに5枚のアルバムをリリースしている。

NEXT PROGRAM

次回定期公演のご案内

オーケストラ・アンサンブル金沢
公式HP・SNSで最新情報を逐次お届け！

公式HP www.oek.jp

SNS



Instagram



facebook



YouTube



X